

第3次浜松市ユニバーサルデザイン計画

U ♥ ゆう プランⅢ

第1期推進計画 (案)

令和4(2022)年度～令和8(2026)年度

目 次

■基本目標 □基本方針 ◇基本施策

■こころ 個性と多様性を認め合う“心”	1
■ひと 主体的に実践できる“人”	2
□多様性を理解し、認め合うことができる人	3
◇誰もが活躍できる社会	3
◇多様な人との交流	5
□主体的に行動、実践できる人	6
◇UDの深化・定着	6
◇UDの行動・実践	9
■こと 誰一人取り残さない“仕組み”	11
□自らの考えで選択し、社会参加できる仕組み	12
◇誰にでも伝わる情報発信	12
◇誰もが社会参画できる環境整備	14
□いつでも、どこでも、誰でもつながる仕組み	17
◇新しいつながりの創出	17
◇誰もが安全・安心に暮らせるまちづくり	19
■くらし 未来まで続く安全・安心な“まち”	21
□安全・安心かつ自由に移動できるまち	22
◇誰もが利用できる交通環境	22
◇誰もが暮らしやすい面的な生活空間の整備	24
□いつまでも続く快適なくらし	25
◇誰もが利用できる施設整備	25
◇施設の適正な維持管理	27
体系図	28
計画策定の経過	29

U・ゆうプランⅢ 第1期推進計画

■基本目標 ころ「個性と多様性を認め合う“心”」

第1次・第2次ユニバーサルデザイン計画に基づき、ユニバーサルデザインの推進に関する諸施策を展開してきました。その結果、ユニバーサルデザインへの理解が増し、施設や道路などの環境整備や生活用品などにユニバーサルデザインが取り入れられ、市政情報や防災情報などの身近な生活情報なども容易に受け取れ、市民の安全・安心で快適な暮らしに貢献してきました。

「思いやりの心が結ぶ優しいまち」の基本理念を実現するためには、「心のユニバーサルデザイン」が一人ひとりに浸透し、すべての人が、互いの個性や多様性を理解し尊重して、認め合うことが必要です。

しかしながら、近年において、新型コロナウイルス感染症による影響から、人との接触が難しい状況となっています。人との触れ合い、心を通じ合わせる事がユニバーサルデザインには欠かすことができません。また、AI（人工知能）やICT（情報通信技術）などのデジタル化が進展しても、「人の心、心の持つ温かさや優しさ」という概念を大切にする必要があります。

このため、第3次ユニバーサルデザイン計画では、デジタル技術を有効に活用しながら、「ひと」「こと」「くらし」の3つの柱のすべてを、「ころ」が覆う、あるいは「ころ」を込めるという基本目標を掲げ、「ころ」と「ひと」、「ころ」と「こと」、「ころ」と「くらし」がそれぞれ連携・協調した施策を実施していきます。

U・ゆうプランⅢ 第1期推進計画

■基本目標 ひと「主体的に実践できる“人”」

市民一人ひとりがお互いの個性を理解し、多様性を認め合うとともに、思いやりの心をもって、主体的に行動できるようになることで、ユニバーサルデザインの理念が普及し、ユニバーサルデザインが当たり前となる社会を目指します。

このため、高齢者、障がい者、外国人、性的マイノリティなど、多様性を理解し、支え合い、助け合っていく共生社会となるよう、思いやりの心を育みます。

また、学校や地域、家庭、職場において、ユニバーサルデザインの理解度が高いほど、思いやりのある行動をする人も増えることから、デジタルの力を活用しながら、ユニバーサルデザインにおける理解を深め、実践する人材の育成などに取り組みます。

<指標>

指 標	現状 (R2年度)	5年後目標
市民のUDの理解度(詳しく知っている、知っている、と回答した割合)	51.5%	60%
思いやりのある行動をしている人の割合	65.7%	80%
事業所のUD理解度(詳しく知っている、知っている、と回答した割合)	51.7%	60%

※ 現状は、「令和2年度ユニバーサルデザイン意識調査報告書」の結果による。

■基本目標 <ひと> 「主体的に実践できる“人”」

□基本方針 「多様性を理解し、認め合うことができる人」

◇基本施策 「誰もが活躍できる社会」

事業No. 事業名	1	企業伴走型障害者雇用推進事業	担当課				
			障害保健福祉課				
事業内容	障がい者雇用拡大のため、障がい者雇用を実施・検討している企業に継続的な支援や助言を行います。また、研修会等を開催し、障がい者雇用の理解促進や、企業間ネットワークの構築等を支援します。						
実施計画	障がい者雇用の企業支援	R4	R5	R6	R7	R8	
備考	目標:「雇用・就労等アドバイザーによる支援回数」 R4～R8:100回					デジタル	
						新規	

事業No. 事業名	2	パートナーシップ宣誓制度	担当課				
			UD・男女共同参画課				
事業内容	性的マイノリティや事実婚の方など、同性・異性を問わず、お互いを人生のパートナーとして認め合った二人が協力して共同生活を行うことを宣誓し、市がその宣誓書を受領したことを証明する「浜松市パートナーシップ宣誓制度」を実施します。						
実施計画	宣誓の公的証明	R4	R5	R6	R7	R8	
備考	R2年度開始					デジタル	
						新規	○

事業No. 事業名	3	多様性理解のための教育	担当課				
			指導課				
事業内容	小中学校における特別の教科・道徳などの時間等を通して、障がいのある人や外国人等、様々な人々の特性や生活習慣に対する理解を深め、お互いの違いを認めることで、児童生徒の思いやりの心を育てます。						
実施計画	多様性理解のための教育	R4	R5	R6	R7	R8	
備考	目標:「人が困っているときは、進んで助けしていると答える児童生徒の割合」 R4～R8:90%					デジタル	
						新規	

事業No. 事業名	4	福祉体験講座	担当課				
			障害保健福祉課				
事業内容	車いす・白杖の疑似体験やDVDの上映等を通じて、身体・知的・精神に障がいのある人への理解を深める「障害福祉体験講座」を実施します。						
実施計画	障害福祉体験講座	R4	R5	R6	R7	R8	
備考	目標:「障害福祉体験講座の受講者数」 R4~R8:500人					デジタル	
						新規	

事業No. 事業名	5	パラスポーツの理解と啓発	担当課				
			スポーツ振興課				
事業内容	浜松市スポーツ協会など本市のスポーツ振興を支える団体と連携し、トップアスリート等を学校等に派遣する「トップアスリート連携事業」にパラアスリートの派遣を加え、パラスポーツへの理解と啓発を図ります。						
実施計画	パラアスリートの派遣	R4	R5	R6	R7	R8	
備考	目標:「パラアスリート交流人数」 R4:500人、R5:550人、R6:600人					デジタル	
						新規	○

■基本目標 <ひと> 「主体的に実践できる“人”」

□基本方針 「多様性を理解し、認め合うことができる人」

◇基本施策 「多様な人との交流」

事業No. 事業名	6	共生・共育推進事業	担当課				
			指導課				
事業内容	<p>障がいのある子供が地域の中で共に豊かに生活できる社会を実現するため、健常児と障がいのある子供の交流を中心とする「共生・共育」を行うことで、各学校の発達支援教育事業の充実を図ります。</p> <p>具体的には、特別支援学校在籍児童生徒が、居住地にある小中学校との交流及び共同学習を希望する場合、小中学校が直接交流あるいは間接交流で受け入れていきます。</p>						
実施計画	共生・共育推進事業	R4	R5	R6	R7	R8	
備考	目標:「特別支援学校在籍児童生徒の交流及び共同学習希望者を受け入れた割合」 R4～R8:100%					デジタル	
						新規	

事業No. 事業名	7	世代間交流事業	担当課				
			幼児教育・保育課				
事業内容	<p>幼稚園や保育園において、思いやりの心と優しい気持ちを育み、いろいろな世代の方と分け隔てなく接することができるように、季節の伝統行事や地域の伝承遊び等を地域の高齢者との体験、未就園児親子や小中学校・高校の児童生徒との触れ合いの場の提供等を行います。</p>						
実施計画	世代間交流事業	R4	R5	R6	R7	R8	
備考	目標:「市立保育園の実施園数」 R4～R8:20園					デジタル	
						新規	

事業No. 事業名	8	外国人学習支援センター事業	担当課				
			国際課				
事業内容	<p>外国人市民の総合的な学習のため、地域のボランティアと連携し、日本語学習支援講座、支援者育成のための学習支援ボランティア養成講座や多文化体験・交流事業等を実施します。</p>						
実施計画	外国人学習支援センター事業	R4	R5	R6	R7	R8	
備考	目標:「日本語教室受講者の満足度」 R4～R6:90%					デジタル	
						新規	

■基本目標 <ひと> 「主体的に実践できる“人”」

□基本方針 「主体的に行動、実践できる人」

◇基本施策 「UDの深化・定着」

事業No. 事業名	9	UD学習支援事業	担当課				
			UD・男女共同参画課				
事業内容	市内小中学生を対象として、ユニバーサルデザイン学習資料の配布をはじめ、出前講座等の学習支援を市民協働で実施し、思いやりの心を育て、心のユニバーサルデザインを広めます。						
実施計画	UD出前講座、UD啓発資料配布	R4	R5	R6	R7	R8	
		→					
備考	目標:「UD学習支援受講者数」 R4~R8:250人					デジタル	
						新規	

事業No. 事業名	10	【重点事業】 UD教材開発事業	担当課				
			UD・男女共同参画課				
事業内容	急速なデジタル化が進展する中、学校教育においてもICT環境の整備が進められ、いつでもどこでも閲覧したり、現地に行かなくてもバーチャルで体験したりすることができるリモートによるUD啓発教材のデジタル化について調査・研究し、新たな教材の制作に取り組みます。						
実施計画	UD教材のデジタル化	R4	R5	R6	R7	R8	
		→					
備考	R4年度開始 R4:教材の制作・検証、R5~R8:教材の活用・更新					デジタル	○
						新規	○

事業No. 事業名	11	教職員UD研修	担当課				
			UD・男女共同参画課				
事業内容	市立小中学校の新任教員等を対象として、ユニバーサルデザインに関する研修を実施し、教員の知識と関心を深め、ユニバーサルデザイン学習の取組促進を図ります。						
実施計画	新任教職員へのUD研修	R4	R5	R6	R7	R8	
		→					
備考	目標:「教職員UD研修受講者数」 R4~R8:100人					デジタル	
						新規	

事業No. 事業名	12	職員へのUD推進	担当課				
			UD・男女共同参画課				
事業内容	各部署の事業や施策等にユニバーサルデザインの考え方を取り入れ、市民サービスの向上を目的として、新規採用職員や窓口・施設担当職員向けの研修を実施するとともに、誰もが見やすく読みやすくするため、メディア・ユニバーサルデザインに配慮して冊子やチラシ・パンフレットを作成するように周知、助言します。						
実施計画	職員へのUD研修	R4	R5	R6	R7	R8	
		→					
備考	目標:「UD研修受講者数」 R4～R8:100人					デジタル	
						新規	

事業No. 事業名	13	はままつUD週間	担当課				
			UD・男女共同参画課				
事業内容	毎年11月1日を含む週を「はままつユニバーサルデザイン週間」とし、市役所庁舎や図書館などでパネル展示やUD製品の紹介などを行い、一人ひとりが思いやりの心を育て、心のユニバーサルデザインを啓発します。						
実施計画	UD啓発の展示	R4	R5	R6	R7	R8	
		→					
備考						デジタル	
						新規	

事業No. 事業名	14	市民へのUD啓発	担当課				
			UD・男女共同参画課				
事業内容	広く市民、特にユニバーサルデザインを知らない市民を対象として、ユニバーサルデザインに関するセミナーや体験講座、啓発イベント等の事業を行い、ユニバーサルデザインに関心を持ってもらう契機となる場を提供します。						
実施計画	啓発事業	R4	R5	R6	R7	R8	
		→					
備考	目標:「ユニバーサルマナーセミナー受講者数」 R4～R8:20人					デジタル	
						新規	

事業No. 事業名	15	事業者へのUD啓発	所管課名				
			UD・男女共同参画課				
事業内容	ユニバーサルデザインを先進的に取り入れている企業や事業所を紹介するセミナーの開催や表彰など、事業者に対するユニバーサルデザインの意識付けを行うことで、ユニバーサルデザインの取組の促進を図ります。						
実施計画	事業者向けセミナー	R4	R5	R6	R7	R8	
		→					
備考						デジタル	
						新規	

■基本目標 <ひと> 「主体的に実践できる“人”」

□基本方針 「主体的に行動、実践できる人」

◇基本施策 「UDの行動・実践」

事業No. 事業名	16	みんなで広める！UD提案事業	担当課				
			UD・男女共同参画課				
事業内容	市民団体や事業者からユニバーサルデザインに関する事業提案を募集して、採択した事業について市が委託し、市民協働による事業を実施します。						
実施計画	UD協働委託事業	R4	R5	R6	R7	R8	
		→					
備考	目標:「協働事業実施件数」 R4～R8:2件					デジタル	
						新規	

事業No. 事業名	17	大学等との協働事業	担当課				
			UD・男女共同参画課				
事業内容	UD絵本ワークショップやピクトグラム選手権などのユニバーサルデザインの啓発事業や啓発教材開発等において、大学等の高等教育機関と連携して事業を実施します。						
実施計画	協働研究、協働事業	R4	R5	R6	R7	R8	
		→					
備考	UD学習教材の研究・開発、協働事業の実施					デジタル	
						新規	○

事業No. 事業名	18	UD学習支援ガイドの養成と協働	担当課				
			UD・男女共同参画課				
事業内容	小中学生等を対象としたユニバーサルデザイン学習を市民と協働で進めるため、UD学習支援を担うことができる市民リーダー（UD学習支援ガイド）の養成を図ります。						
実施計画	人材育成、UD学習支援ガイドとの協働事業	R4	R5	R6	R7	R8	
		→					
備考	UD学習支援ガイドの登録、協働事業の拡充					デジタル	
						新規	

事業No. 事業名	19	ユニバーサル農業の推進	担当課				
			農業水産課				
事業内容	農業分野において、誰もが作業できるよう作業分解の視点等を取り入れることで、障がい者のみならず、高齢者や女性など多様な担い手を確保し、多様な就農機会の創出を図ります。						
実施計画	ユニバーサル農業の普及啓発	R4	R5	R6	R7	R8	
		→					
備考	H17年度開始 ユニバーサル農業の普及啓発、多様な担い手の確保				デジタル		
					新規	○	

U・ゆうプランⅢ 第1期推進計画

■基本目標 こと「誰一人取り残さない“仕組み”」

デジタルの力を有効に活用しながら、市政情報・防災情報、子育て情報の提供など、誰もが容易に取得できる情報を発信するとともに、誰もが就業、文化芸術・スポーツ活動に参画できる機会を提供します。また、いつでも、どこでも、誰でも社会とつながり、自由に選択し、自由に参画できるようになることで、誰一人取り残さない仕組みづくりを進めます。

このため、高齢者が健康で生き生きと暮らすための就労の支援や、障がい者や女性の雇用や就職定着のための支援に取り組むとともに、外国人市民との共生を図るため、多文化共生の取組や「やさしい日本語」の活用を推進します。

また、誰もが安全・安心に暮らしていくため、デジタル技術を活用して、コミュニケーション支援やオンラインを通じた参画等の環境づくりに取り組んでいきます。

<指標>

指 標	現状 (R2年度)	5年後目標
誰もが就業できる機会が確保されていると感じる人の割合	34.1%	40%
誰もが文化、スポーツ活動などに参画できる機会が確保されていると感じる人の割合	46.9%	50%
事業を営む上でUDを取り入れている事業所の割合	22.7%	30%

※ 現状は、「令和2年度ユニバーサルデザイン意識調査報告書」の結果による。

■基本目標 <こと> 「誰一人取り残さない“仕組み”」

□基本方針「自らの考えで選択し、社会参加できる仕組み」

◇基本施策「誰にでも伝わる情報発信」

事業No. 事業名	20	多言語生活情報サイト「カナルハママツ」	担当課				
			国際課				
事業内容	生活者としての外国人市民が求める情報を提供するため、市ホームページの多言語生活情報サイト「カナルハママツ」で、英語、ポルトガル語、やさしい日本語、フィリピン語、中国語、スペイン語、ベトナム語により情報を提供します。						
実施計画	多言語生活情報サイト による情報提供	R4	R5	R6	R7	R8	
		→					
備考	目標:「在住外国人向けホームページ「カナルハママツ」アクセス 件数 R4～R6:300,000件					デジタル	○
						新規	

事業No. 事業名	21	市政情報のUD化	担当課				
			広聴広報課				
事業内容	市政情報を必要とする人にタイムリーに分かりやすく伝えるため、ホームページ、広報はままつ、市長定例会見などの各広報においてUDに配慮した情報発信を行います。また、オープンデータを基盤としたプラットフォームにより、SNSなど各種広報媒体を活用した多角的な情報発信を行います。						
実施計画	UDに配慮した市政情報の発信	R4	R5	R6	R7	R8	
		→					
備考	必要な人に必要な情報を分かりやすく発信					デジタル	○
						新規	

事業No. 事業名	22	防災情報のUD化	担当課				
			危機管理課				
事業内容	災害時の避難情報等を迅速かつ適切に伝達するため、災害情報伝達システム等（デジタル同報無線、防災マップ等）の適正な運用を図ります。						
実施計画	災害情報伝達システム等 の適正な運用	R4	R5	R6	R7	R8	
		→					
備考	防災情報等を適時・適切に分かりやすく表示・発信					デジタル	○
						新規	○

事業No. 事業名	23	地域のUD情報等発信	担当課				
			観光・シティプロモーション課				
事業内容	誰もが訪れやすく、暮らしやすい街づくりを進めるために、地域の宿泊施設、文化・観光施設、公共交通、トイレ等のユニバーサルデザイン情報を収集し、観光情報サイトを活用して誰にでもわかりやすく提供します。						
実施計画	地域のUD情報発信	R4	R5	R6	R7	R8	
		→					
備考	観光施設UD情報の発信	デジタル	○				
		新規					

事業No. 事業名	24	ICTを活用したUD情報発信事業	担当課				
			UD・男女共同参画課				
事業内容	市ホームページやフェイスブックなどのSNSを活用したユニバーサルデザインに関する様々な情報を発信し、市民等に対するユニバーサルデザインの意識啓発を行います。						
実施計画	UD情報の発信	R4	R5	R6	R7	R8	
		→					
備考	より効果的な情報手段の検討	デジタル	○				
		新規					

事業No. 事業名	25	子育て情報発信事業	担当課				
			子育て支援課				
事業内容	オープンデータに対応した「浜松市子育て情報ポータルサイト」や、チャットボットを主体とするICT関連サービスの管理・運営を行うことにより、子育て世帯に常に最新の情報提供を行うほか、子育て支援者や関係団体とつながることができる環境整備を行います。						
実施計画	子育て情報の発信	R4	R5	R6	R7	R8	
		→					
備考	目標:「情報提供アクセス数」 R4~R8:3,000,000回	デジタル	○				
		新規					

■基本目標 <こと> 「誰一人取り残さない“仕組み”」

□基本方針「自らの考えで選択し、社会参加できる仕組み」

◇基本施策「誰もが社会参画できる環境整備」

事業No. 事業名	26	シルバー人材センター支援	担当課				
			高齢者福祉課				
事業内容	シルバー人材センターへの支援等を通じ、高齢者の「働くこと」を通じた社会参加を促進し、高齢者の健康で生きがいのある生活の実現を図ります。						
実施計画	シルバー人材センター支援	R4	R5	R6	R7	R8	
		→					
備考						デジタル	
						新規	

事業No. 事業名	27	障害者就労支援事業	担当課				
			産業振興課				
事業内容	障がいのある方の就労に関する総合的な相談に応じるとともに、就職後における定着支援を行います。また、障害者雇用を促進するため、企業等に対し、就労に関するセミナーを開催します。						
実施計画	障害者就労支援事業	R4	R5	R6	R7	R8	
		→					
備考						デジタル	
						新規	

事業No. 事業名	28	高齢者就労環境整備事業	担当課				
			産業振興課				
事業内容	働くことを希望する誰もが70歳になっても働くことができる都市の実現に向け、70歳以上の高齢者の就労が可能な事業所を「高齢者活躍宣言事業所」に認定し、公表します。また、求職中の高齢者を対象に、セミナーや就職フェア等を開催し、就労を支援します。						
実施計画	高齢者就労環境整備事業	R4	R5	R6	R7	R8	
		→					
備考	R1年度開始 目標:「高齢者活躍宣言事業所認定制度の認定事業所数」 R4:100件、R5:110件、R6:120件					デジタル	
						新規	○

事業No. 事業名	29	女性就労支援事業	担当課				
			産業振興課				
事業内容	求職中の女性を対象にセミナーや就職フェアを開催し、就労を支援します。また、出産や育児のために離職率が高くなっている若年女性就労者等に対するセミナーを開催し、継続就労を支援します。						
実施計画	女性就労支援事業	R4	R5	R6	R7	R8	
備考	目標:「セミナー等参加者(実人数)の就業率」 R4:46%、R5:48%、R6:50%					デジタル	
						新規	

事業No. 事業名	30	一人一人の状況に応じた多様で柔軟な教育の充実	担当課				
			指導課				
事業内容	学校などにおいてICTを効果的に活用し、障がいのある子供、外国人児童生徒、不登校児童生徒など一人一人の状況に応じた教育支援の充実を図ります。						
実施計画	多様化する課題を抱える児童生徒の支援	R4	R5	R6	R7	R8	
備考	第3次浜松市教育総合計画 後期計画 「はままつ人づくり未来プラン 教育の情報化編」 (R2年11月策定)					デジタル	○
						新規	○

事業No. 事業名	31	ワーク・ライフ・バランス等推進事業所認証事業	担当課				
			産業振興課				
事業計画	誰もが働きやすい職場環境づくりや働き方改革の推進を図るため、仕事と家庭・地域活動等との両立支援などワーク・ライフ・バランスの推進に取り組んでいる事業所を認証します。						
実施計画	ワーク・ライフ・バランス等推進事業所認証事業	R4	R5	R6	R7	R8	
備考	目標:「認証事業所数」 R4:130事業所、R5:140事業所、R6:150事業所、 R7:160事業所、R8:170事業所					デジタル	
						新規	

事業No. 事業名	32	多文化共生センター事業	担当課				
			国際課				
事業内容	誰もが安心して暮らせる共生社会づくりを進めるため、専門スタッフを配置し、多言語による生活相談や情報提供を行うとともに、外国人市民と日本人市民の共生を図るための事業などを実施します。						
実施計画	多文化共生センター事業	R4	R5	R6	R7	R8	
備考	目標:「多文化共生センター事業参加者の満足度」 R4～R6:90%					デジタル	
						新規	

事業No. 事業名	33	オンライン配信による音楽に親しむ機会の提供	担当課				
			創造都市・文化振興課				
事業内容	現地への来場が困難な方にも音楽を楽しんでいただくため、オンライン配信の取組を実施することで、より多くの方に音楽に親しむ機会を提供します。						
実施計画	音楽イベントのオンライン配信	R4	R5	R6	R7	R8	
備考	R2年度開始					デジタル	○
						新規	○

事業No. 事業名	34	ユニバーサルツーリズム受入環境整備	担当課				
			観光・シティプロモーション課				
事業内容	地域のユニバーサルデザイン情報の収集発信を一元化する体制づくりや事業者等とのネットワーク強化を図り、ユニバーサルツーリズムに対応した受入環境整備を促進します。						
実施計画	ユニバーサルツーリズム受入環境整備	R4	R5	R6	R7	R8	
備考						デジタル	
						新規	

■基本目標 <こと> 「誰一人取り残さない“仕組み”」

□基本方針 「いつでも、どこでも、誰でもつながる仕組み」

◇基本施策 「新しいつながりの創出」

事業No. 事業名	35	デジタルデバイドの解消	担当課			
			創造都市・文化振興課			
事業内容	市民のデジタルデバイド（情報格差）を解消し、デジタル技術の活用による恩恵を誰もが受けることができるよう、パソコンやスマホ等の使い方に関する講座を開催します。					
実施計画	デジタルデバイド解消のための講座	R4	R5	R6	R7	R8
		→				
備考					デジタル	○
					新規	○

事業No. 事業名	36	電子図書の貸出・閲覧サービスの提供	担当課			
			中央図書館			
事業内容	電子化された書籍、多言語資料、行政資料などを登録し、図書館で利用登録した人を対象に、インターネット環境があれば、個人のパソコン、スマートフォン、タブレットなどの端末で24時間いつでもどこでも貸出・閲覧できるサービスを提供します。					
実施計画	電子図書の貸出・閲覧	R4	R5	R6	R7	R8
		→				
備考	R1年度開始				デジタル	○
					新規	○

事業No. 事業名	37	自治会活動の発信と参画促進	担当課			
			市民協働・地域政策課			
事業内容	自治会等コミュニティにおけるデジタル推進に向けた支援を行うことで、自治会活動等を発信し、多様な会員の参画を促進します。					
実施計画	自治会のICT化に向けた支援	R4	R5	R6	R7	R8
		→				
備考	令和3年度から研修会を開始				デジタル	○
					新規	○

事業No. 事業名	38	市内間交流事業	担当課				
			市民協働・地域政策課				
事業内容	リモート体験ワークショップやオンライン会議、中山間地域の魅力を発信する動画を制作しSNS等によるPRを行うことで、中山間地域に関心を持つ市民と中山間地域住民の市内間交流事業を実施します。						
実施計画	オンラインプログラム	R4	R5	R6	R7	R8	
		→					
備考	R3年度からオンラインプログラム開始					デジタル	○
						新規	○

事業No. 事業名	39	やさしい日本語の活用推進	担当課				
			国際課、広聴広報課				
事業内容	職員を対象とした「やさしい日本語スキルアップ講座」の開催など、やさしい日本語の活用を啓発・促進するとともに、やさしい日本語で情報発信します。						
実施計画	やさしい日本語による情報発信	R4	R5	R6	R7	R8	
		→					
備考	H16年度からホームページ、R2年度から広報はままつで活用開始 H30年度から職員向け研修を開始					デジタル	
						新規	○

■基本目標 <こと> 「誰一人取り残さない“仕組み”」

□基本方針 「いつでも、どこでも、誰でもつながる仕組み」

◇基本施策 「誰もが安全・安心に暮らせるまちづくり」

事業No. 事業名	40	電子市役所推進事業	担当課				
			情報政策課				
事業内容	施設予約サービスを提供しつつ、さらに市民の利便性を高めるため、行政手続等のオンライン化を拡充し、電子市役所の推進を図ります。						
実施計画	簡易な電子申請対応	R4	R5	R6	R7	R8	
		→					
備考	R3年度開始	デジタル	○				
		新規	○				

事業No. 事業名	41	【重点事業】 ICTを活用したコミュニケーション支援	担当課				
			障害保健福祉課、国際課、UD・男女共同参画課				
事業内容	タブレット端末を活用した多言語通訳サービス、テレビ電話機能による手話通訳、音声文字化アプリケーションによるコミュニケーション支援ができる環境づくりを図ります。						
実施計画	コミュニケーション支援	R4	R5	R6	R7	R8	
		→					
備考	窓口や会議、講演会でのコミュニケーション支援	デジタル	○				
		新規					

事業No. 事業名	42	消防情報通信ネットワーク事業	担当課				
			情報指令課				
事業内容	消防指令センターにおいて外国人、119番通報に不安がある人（言語機能や呼吸器、聴覚に障がいのある人）及び高齢者からの緊急通報に対して、速やかに通報者に関する情報収集を行い、消防指令管制システムへ取り込み、活動隊への支援情報として活用します。						
実施計画	消防情報通信ネットワーク事業	R4	R5	R6	R7	R8	
		→					
備考	目標:「速やかに支援情報を活用するための研修等」 R4～R8:2回	デジタル					
		新規					

事業No. 事業名	43	緊急通報の円滑な対応	担当課				
			情報指令課				
事業内容	日本語が分からない外国人、音声による119番通報に不安がある人（言語機能や呼吸器、聴覚に障がいのある人）及び高齢者が行う緊急通報に対して、三者間通訳サービスや音声によらない緊急通報システム、やさしい日本語を活用し円滑な対応を行います。						
実施計画	通報訓練等の実施	R4	R5	R6	R7	R8	
		→					
備考	目標:「関係団体と連携した通報訓練等の実施」 R4～R8:1回				デジタル		
					新規	○	

U・ゆうプランⅢ 第1期推進計画

■基本目標 暮らし「未来まで続く安全・安心な“まち”」

誰もが安全・安心かつ自由に行動できるように、施設や、施設までの移動環境を、ユニバーサルデザインの視点から、面的・一体的に整備するとともに、施設の適正な維持管理を行うことで、いつまでも続く快適な暮らしを目指します。

このため、わかりやすい案内サインの設置やピクトグラムの活用など、誰もが利用しやすい施設の整備や、公園やスポーツ施設などのユニバーサルデザイン施設の適正な維持管理に取り組みます。

また、特にバリアフリー化が必要な地区を重点的に整備するとともに、公共交通の利便性を向上させるため、新たな移動サービスの導入等を進めます。

<指標>

指 標	現状 (R2年度)	5年後目標
公共交通機関について、利用しやすいと感じる人の割合	56.1%	60%
自分の住む地域の歩道について、利用しやすいと感じる人の割合	41.4%	50%
防災・防犯などの面で誰もが安全・安心に暮らすことができる地域だと感じる人の割合	54.3%	70%

※ 現状は、「令和2年度ユニバーサルデザイン意識調査報告書」の結果による。

■基本目標 <くらし> 「未来まで続く安全・安心な“まち”」

□基本方針 「安全・安心かつ自由に移動できるまち」

◇基本施策 「誰もが利用できる交通環境」

事業No. 事業名	44	民間交通事業者UD化支援	担当課				
			交通政策課				
事業内容	鉄道駅のバリアフリー化整備など民間交通事業者が実施する公共交通のユニバーサルデザイン化設備整備事業等に要する経費の一部を支援することにより、快適で安全で利用しやすい公共交通の形成を促進します。						
実施計画	民間交通事業者のUD化支援	R4	R5	R6	R7	R8	
		→					
備考						デジタル	
						新規	

事業No. 事業名	45	浜松自動運転やらまいかプロジェクト	担当課				
			産業振興課				
事業内容	将来の地域公共交通における自動運転の実用化を見据えた自動運転技術の検証及び車両の予約・運行管理システムの検証を行い、使い勝手等の面におけるユーザーニーズを収集する実証実験を行います。						
実施計画	実証実験による検証	R4	R5	R6	R7	R8	
		※実施時期については関係機関で協議し決定していきます。					
備考	H28年度開始					デジタル	○
						新規	○

事業No. 事業名	46	地域バス・自主運行バスの運行	担当課				
			交通政策課				
事業内容	交通空白地域等において、地域住民の日常生活の移動手段を確保するために地域バスや自主運行バスの運行を行います。						
実施計画	地域バス・自主運行バスの運行	R4	R5	R6	R7	R8	
		→					
備考	R3:13地域で地域バス運行					デジタル	
						新規	○

事業No. 事業名	47	共助型地域交通等推進モデル事業	担当課				
			デジタル・スマートシティ推進事業本部				
事業内容	<p>浜松版MaaS構想の重点分野の一つとして、公共交通の維持が困難となっている地域の中からモデル地区を選定し、自家用車を使った共助型交通の導入やスクールバスの有効活用、予約システムなどを検討し持続可能な地域交通の確立を目指します。また、確立した手法については同様の課題を抱える市内他地域へ横展開を図ります。</p>						
実施計画	自家用車共助型交通モデル事業	R4	R5	R6	R7	R8	
		→					
備考	R3年度開始 MaaS:「Mobility as a Service」の略。 複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に 組み合わせて検索・予約・決済等を一括で行うサービス。				デジタル	○	
					新規	○	

■基本目標 <くらし> 「未来まで続く安全・安心な“まち”」

□基本方針 「安全・安心かつ自由に移動できるまち」

◇基本施策 「誰もが暮らしやすい面的な生活空間の整備」

事業No. 事業名	48	わかりやすい案内サインの設置	担当課				
			道路企画課				
事業内容	標識令、道路標識設置基準、しずおか公共サイン整備ガイドライン等に基づき、道路案内標識の種類、表示地名等を統一し、市民や浜松市を訪れる人に対して、分かりやすい案内や誘導を進めます。						
実施計画	案内標識ナンバリングの設置	R4	R5	R6	R7	R8	
		→					
備考	目標:「高速道路ナンバリング対応標識数」 R4:30枚					デジタル	
						新規	

事業No. 事業名	49	ピクトグラムの周知啓発	担当課				
			UD・男女共同参画課				
事業内容	小中学生を対象としたピクトグラム選手権の開催などにより、ピクトグラムの周知啓発を図るとともに、ピクトグラム情報の収集、ピクトグラムの活用周知を行います。						
実施計画	ピクトグラム周知啓発事業	R4	R5	R6	R7	R8	
		→					
備考	R1年度開始					デジタル	
						新規	○

事業No. 事業名	50	【重点事業】 八幡駅周辺バリアフリー化	担当課				
			交通政策課、道路企画課				
事業内容	遠州鉄道八幡駅周辺は、居住誘導地域であるとともに、医療・介護施設や企業が立地しており、高齢者や障がい者等の安心・安全な利用・通行のため、バリアフリー法に基づく「八幡駅周辺バリアフリー基本構想」を策定しました。 本構想に基づき、八幡駅横断歩道橋エレベーター整備を行うなど、安全に安心して通行できる道路交通環境を改善することで、バリアフリー化の整備を進めます。						
実施計画	八幡駅及び周辺のバリアフリー化	R4	R5	R6	R7	R8	
		→					
備考	R3年度開始					デジタル	
						新規	○

■基本目標 <くらし> 「未来まで続く安全・安心な“まち”」

□基本方針 「いつまでも続く快適なくらし」

◇基本施策 「誰もが利用できる施設整備」

事業No. 事業名	51	公共建築物等のUD化推進	担当課				
			公共建築課				
事業内容	すべての人が快適に利用できる公共建築物を提供するため、ユニバーサルデザイン等に配慮した設計及び工事監理業務を実施し、公共建築物の新設等の施設整備において、適正な整備水準を確保します。						
実施計画	公共建築物のUD化整備	R4	R5	R6	R7	R8	
		→					
備考	目標:「公共建築物のユニバーサルデザイン度」 R4～R5:62点、R6:63点					デジタル	
						新規	

事業No. 事業名	52	公園のUD化推進	担当課				
			公園課				
事業内容	子供からお年寄りまで、誰もが安全で安心して利用できるよう、公園施設のユニバーサルデザイン化整備を進めます。						
実施計画	UDに配慮した公園整備	R4	R5	R6	R7	R8	
		→					
備考	目標:「UDに配慮した新規公園の整備」 R4～R8:5公園(5年間で)					デジタル	
						新規	

事業No. 事業名	53	スポーツ施設のUD化推進	担当課				
			スポーツ振興課				
事業内容	スポーツ実施率向上のため、誰もが気軽に利用できる施設整備を目指し、パラスポーツを含めた各種大会の誘致推進や、すべての人が安心・安全に利用できるようスポーツ施設のユニバーサルデザイン化を進めます。						
実施計画	スポーツ施設のUD化整備	R4	R5	R6	R7	R8	
		→					
備考	R4～5年度:天竜体育館のUD化整備					デジタル	
						新規	

事業No. 事業名	54	協働センター等へのWi-Fi整備	担当課				
			デジタル・スマートシティ推進事業本部				
事業内容	協働センターにWi-Fiを整備することにより、ウィズコロナやポストコロナの時代において市民団体等が活動しやすい環境を提供します。						
実施計画	Wi-Fi整備	R4	R5	R6	R7	R8	
		→					
備考	R3年度開始	デジタル		○			
		新規		○			

■基本目標 <くらし> 「未来まで続く安全・安心な“まち”」

□基本方針 「いつまでも続く快適なくらし」

◇基本施策 「施設の適正な維持管理」

事業No. 事業名	51 再掲	公共建築物等のUD化推進					担当課	
							公共建築課	
事業内容		すべての人が快適に利用できる公共建築物を提供するため、ユニバーサルデザイン等に配慮した設計及び工事監理業務を実施し、公共建築物の修繕等の維持管理において、適正な整備水準を確保します。						
実施計画	公共建築物のUD化整備	R4	R5	R6	R7	R8		
		→						
備考	目標:「公共建築物のユニバーサルデザイン度」 R4～R5:62点、R6:63点					デジタル		
						新規		

事業No. 事業名	55	浜松駅周辺道路におけるUD施設の維持管理					担当課	
							道路企画課、道路保全課	
事業内容		浜松市交通バリアフリー基本構想の重点整備地区であるJR浜松駅周辺において、障がい者や高齢者などが、安全に安心して通行できるよう、道路のUD施設を適正に維持管理します。						
実施計画	道路におけるUD施設の維持管理	R4	R5	R6	R7	R8		
		→						
備考	H16年度開始					デジタル		
						新規	○	

基本計画			推進計画						
基本目標	基本方針	基本施策	事業No.	推進事業	デジタル 関連経費	新規掲載 事業			
こころ 個性と多様性を認め合う “心”									
ひと 主体的に 実践できる “人”	多様性を理解し、 認め合うことができる人	誰もが活躍できる社会	1	企業伴走型障害者雇用推進事業					
			2	パートナーシップ宣誓制度		○			
			3	多様性理解のための教育					
			4	福祉体験講座					
			5	パラスポーツの理解と啓発		○			
	主体的に 実践できる “人”	多様な人との交流		6	共生・共育推進事業				
				7	世代間交流事業				
				8	外国人学習支援センター事業				
				9	UD学習支援事業				
				10	UD教材開発事業 <重点事業>	○	○		
				11	教職員UD研修				
				12	職員へのUD推進				
				13	はままつUD週間				
		主体的に行動、 実践できる人	UDの深化・定着		14	市民へのUD啓発			
					15	事業者へのUD啓発			
	主体的に行動、 実践できる人	UDの行動・実践		16	みんなで広める！UD提案事業				
				17	大学等との協働事業		○		
				18	UD学習支援ガイドの養成と協働				
				19	ユニバーサル農業の推進		○		
こと 誰一人 取り残さない “仕組み”				自らの考えで選択し、 社会参加できる仕組み	誰にでも伝わる情報発信	20	多言語生活情報サイト「カナルハママツ」	○	
						21	市政情報のUD化	○	
						22	防災情報のUD化	○	○
						23	地域のUD情報等発信	○	
						24	ICTを活用したUD情報発信事業	○	
				誰にでも伝わる情報発信		25	子育て情報発信事業	○	
	26	シルバー人材センター支援							
	27	障害者就労支援事業							
	28	高齢者就労環境整備事業				○			
	29	女性就労支援事業							
誰にでも伝わる情報発信	誰もが社会参画できる環境整備		30	一人一人の状況に応じた多様で柔軟な教育の充実	○	○			
			31	ワーク・ライフ・バランス等推進事業所認証事業					
			32	多文化共生センター事業					
			33	オンライン配信による音楽に親しむ機会の提供	○	○			
			34	ユニバーサルツーリズム受入環境整備					
いつでも、どこでも、 誰でもつながる仕組み	新しいつながりの創出		35	デジタルデバイドの解消	○	○			
			36	電子図書の貸出・閲覧サービスの提供	○	○			
			37	自治会活動の発信と参画促進	○	○			
			38	市内間交流事業	○	○			
			39	やさしい日本語の活用推進	○	○			
	誰もが安全・安心に暮らせる まちづくり		40	電子市役所推進事業	○	○			
			41	ICTを活用したコミュニケーション支援 <重点事業>	○				
			42	消防情報通信ネットワーク事業					
			43	緊急通報の円滑な対応		○			
			44	民間交通事業者UD化支援					
くらし 未来まで続く 安全・安心な “まち”	安全・安心かつ自由に 移動できるまち	誰もが利用できる交通環境	45	浜松自動運転やらまいかプロジェクト	○	○			
			46	地域バス・自主運行バスの運行		○			
			47	共助型地域交通等推進モデル事業	○	○			
			48	わかりやすい案内サインの設置					
			49	ピクトグラムの周知啓発		○			
	いつでも続く 快適なくらし	誰もが利用できる施設整備		50	八幡駅周辺バリアフリー化 <重点事業>		○		
				51	公共建築物等のUD化推進				
				52	公園のUD化推進				
				53	スポーツ施設のUD化推進				
				54	協働センター等へのWi-Fi整備	○	○		
いつでも続く 快適なくらし	施設の適正な維持管理		51(再掲)	公共建築物等のUD化推進					
			55	浜松駅周辺道路におけるUD施設の維持管理		○			

計画策定の経過

年月日	会議等	主な内容
令和2年 9月 4日 ～9月28日	UD市民・事業所意識調査実施	調査対象:18歳以上の市民2,500人 市内事業者500社
10月 9日	令和2年度 第2回浜松市ユニバーサルデザイン審議会	UD意識調査について
令和3年 2月10日	UD意見交換会	参加者:10名（UD講師派遣プログラム登録者、UD学習支援ガイド）
3月17日	令和2年度 第3回浜松市ユニバーサルデザイン審議会	UD意識調査・UD意見交換会の報告、新計画骨子案について
4月26日	第3次浜松市ユニバーサルデザイン計画策定のための庁内検討会議	新計画策定について 参加:庁内関係課
5月11日	浜松市議会市民文教委員会	UD意識調査結果及び新計画骨子案について
5月13日 ～5月26日	UD関連事業調査	対象:庁内全課
6月25日	令和3年度 第1回浜松市ユニバーサルデザイン審議会	新計画骨子案について
8月26日	令和3年度 第2回浜松市ユニバーサルデザイン審議会	新計画中間案について
10月19日	令和3年度 第3回浜松市ユニバーサルデザイン審議会	新計画素案について
11月 2日	浜松市議会市民文教委員会	新計画素案について
11月15日 ～12月15日	パブリック・コメント実施	
令和4年 1月14日	令和3年度 第4回浜松市ユニバーサルデザイン審議会	パブリック・コメントの結果について
1月24日	庁議	パブリック・コメントの結果について
2月 7日	浜松市議会市民文教委員会	新計画修正案について
2月 7日	パブリック・コメント実施結果の公表	
3月	第3次浜松市ユニバーサルデザイン計画策定	

※網掛け部分は今後予定。